

# この雲の向こうに！



題字 小林 眞由美

[第4号]

平成28年3月15日発行

発行 西蒲区自治協議会  
編集 西蒲区自治協議会広報部  
事務局 西蒲区役所地域課  
〒953-8666 西蒲区巻甲2690番地1  
TEL 0256-72-8156  
FAX 0256-72-6022  
E-mail chiiki.nsk@city.niigata.lg.jp



豊かな自然 豊かなこころ 西蒲区

## 西蒲区内の施設等の視察

巻漁港・間瀬漁港・  
西川多目的ホール・旧間瀬保育園

西蒲区自治協議会では、十一月に区内の施設の視察を行いました。水産業の未来を考えると、巻漁港の直売所や間瀬漁港の水揚げ状況などを確認したあと、漁港関係者の方から西蒲区の水産業の現状についてお聞きしました。また、児童数の減少により平成二十五年三月末に閉園となつた間瀬保育園の有効利用と西川多目的ホールの利用者増に向けた方策を検討するため、それぞれの施設で施設管理者から現状をお聞きしました。そのあとの自治協議会の各常任部会で視察先の有効利用などについて話し合いました。



地域の意見を市全体の教育行政に反映していくため、西蒲区を担当する教育委員らと自治協議会委員で「地域と学校との連携について」地域の子どもは地域で守り育てる」をテーマに意見交換を行いました。九月に行われた一回目のミーティングでは、各コミ協から選出された自治協議会委員がそれぞれの地域と学校との連携した活動を紹介し、全員で共有しました。また、一月に行われた第二回目のミーティングでは、西蒲区を担当する教育委員らと自治協議会の中で教育部門を担当する総務部会に所属する委員で、地域での教育の現状などについて更に踏み込んだ意見交換を行いました。

## 教育委員と意見交換「区教育ミーティング」

地域の子どもは地域で守り育てる

# 地域のトピックス

〔岩室地域コミュニティ協議会〕

おひな様でおもてなし  
岩室温泉ひな巡り  
風情ある佇まい、能面アトリエ「無匠庵」と岩室温泉



春を告げる「ひな巡り」が岩室温泉の能面アトリエ「無匠庵」を中心に開催されています。「家に眠っているおひな様を飾ってみませんか」という呼びかけに集まった沢山のおひな様が、やさしい笑顔で迎えています。雛巡りをとおして、地域住民が積極的に取り組んだ「住民参画」型が、岩室の魅力発信につながっていきます。

☆無匠庵は終了しました。  
☆温泉街のホテル、旅館、お店は3月22日(火)まで開催しています。

〔漆山地域コミュニティ協議会〕

カーリンコン塾  
世代間交流ふれあい



- 「カーリンコン」ってなに？  
国民的に人気の出てきた氷上のスポーツであるカーリングを連想させ、ディスクが当たって響き合うカーンコンの音を合わせ、略して名付けられました。カーリング・カーンコン⇒略して「カーリンコン」。  
シンプルなルールなので老若男女、誰もがすぐプレーに参加できます。
- 競技の進め方  
1チーム3人で競技は各自2枚のディスク（直径12センチ）を持つ。両チームがそれぞれ6枚のディスクをポイントめがけて交互に投げ合い、1イニング終了になります。  
得点はポイントが一番近い相手のディスクよりも、何枚近づいているかを数えます。そして次のイニングに入り、7点に早く達したチームが勝ちとなります。
- 平成25年4月に「生きがい事業」として会員5名で発足。現在は40名を超えました。
- 年4回「ふれあい交歓大会」を開催しています。
- 練習は毎月水曜日の午後1時～3時半の間「漆山体育館」で行っています。ぜひ、見に来てください。お待ちしております！！



## ●ホットとコーナー

巻のトミー

◇娘の歩んだ道  
「やめろ、都会に行ってもろくな人間になりやしないぞ！」と、反対する父親に対して、自分のやりたい道を探すんだと言って出て行った娘。都会に暮らし始めてすぐに癌という大病を患った。しかし、なんとか病を乗り越え恋人と結婚できた。その後、病気を患ったことで8年間子どもに恵まれなかった。だが、先日娘夫婦に丸々とした赤ちゃんが生まれた。私にとつて初孫誕生で嬉しかった。平穏な家庭に嫁ぐことができ、今は幸せな暮らしをしてる娘。親としてホットと安堵した。

シヨーチちゃん

◇青空へ飛んだ飛んだ夢とんだ  
昭和二十九年から私の楽しい学校生活が始まった。小学校、田植え休み、稲刈り休みがあった。全校で部落対抗イナゴ取り競争があった。一匹捕まえるのに畔を滑って転んだ。イナゴを売って、本やいろいろな物を買った。六年生、東山温泉へ修学旅行。「トンネルだ、煙が入った。」汽車の窓を閉めたり、開けたり、アハハ、ワハハと大騒ぎ、賑やかだった。笑顔はススけたけれど、皆美人だった。中学校、秋になると全校で松ぼっくり拾い、石炭ストーブの焚きつけに。勉強時間中をやったが、皆勉強も出来た。修学旅行は日光、東京へ行った。いろいろは坂のピンカーブ、シートベルトなどなかった。振り落とされたいよう、しっかりとつかまっていた。羽田空港で飛行機を覗いた。大きくなったら、あれに乗って外国へ行くぞ、夢は大きく、広がり、いろんなところに行ってみた。でも「日本がいちばんいいな。」角田山を見るとホットとします。

## 募集します



### ●ホットとコーナー

皆さまから投稿された記事をご紹介します。言葉、お子さま、ペットなど、自分が「ホットと」するものであれば、何でも結構です。コメントや写真を、事務局（表紙に掲載）まで住所・氏名・連絡先をお書き添えの上、郵送または電子メールにてお寄せください。

### ●声

自治協議会は、区民の皆さまの要望や考えを事業に生かす場でもあります。取り上げて欲しい地域課題からイベントの提案など皆さまの「声」を事務局（表紙に掲載）まで、住所・氏名・連絡先をお書き添えの上、郵送または電子メールにてお寄せください。

### 編集後記

自治協議会の取り組みを皆さまからご理解いただくため、広報紙「じちきょう」を作成しています。皆さまからもご意見などをお寄せください。

## 西蒲区の魅力発信



現在の新潟市立曾根小学校の校地内であり、私領の長岡藩領曾根組の役所であった。曾根代官所の統括した村数は、時期により移動があるが、寛政二年五十か村、文政十三年五十七か村、安政五年五十五か村、三千五十戸であった。現在、一本の大樫があり、代官所の名残りをとどめる唯一の記念物である。この大樫は昭和五十七年十二月二十四日、旧西川町の文化財に指定された。その側に「曾根代官所跡」の石碑がある。

今は、かつての代官所見晴らし台を模した「だいのろの家」が西川ふれあい公園内にあり、周辺で地域住民が体力づくりをしているほか、曾根代官所が置かれていた時代背景を活かし、「越後にしかわ時代激まつり」を行い、昔を偲び地域の団結で守り伝えていく。

## 西川

あつたてんが長岡藩曾根代官所

## 自治協議会の部会活動

### 平成27年度はこんな活動をしました

#### 総務部会

#### 地域の魅力再発見・区の一体感醸成

総務部会では、区内の芸術・文化分野の一体感を醸成するため、第3回目となる「西蒲区美術展覧会」を7月に巻地区公民館で開催しました。

また、西蒲区をより一層知っていただくためのパンフレットを作成し、区民の皆さまが「わがまち」の魅力を再発見できるよう図っていきます。



#### 地域で高齢者などの見守りを

#### 保健福祉部会

保健福祉部会では、高齢者や認知症状のある方などを見守るためのキーホルダーを希望者に配布する事業を実施しております。

この事業は、見守りキーホルダーを身につけておくことで、外出先で道に迷ったときなどに、キーホルダーの番号からご家族の方に連絡できるシステムです。ご家族など、見守ってほしい方がいらっしゃいましたら、ぜひ申請してください。



#### まちづくり・産業部会

#### 公共交通をより使いやすく

まちづくり・産業部会では、区民の皆さまに、より気軽に公共交通機関を利用していただくために、JR、路線バス、区バスなどの時刻表を一つにまとめた「公共交通まるごとガイド」の製作を進めています。

このガイドには、区外の皆さまにも使っていただけるよう、西蒲区内各地区の観光情報も掲載します。各交通機関のダイヤ改正に併せて、4月に皆さまへお届けする予定ですので、ぜひご活用ください。



※ 避難所が記入できるマグネット (H26 自治協作成) は活用していますか？  
いざというときのため、家族の避難場所がわかるようにしておきましょう！

どうする？次号は！



#### 広報部会

広報部会では、区民の皆さまから西蒲区自治協議会の活動をご理解いただくため、平成26年度から西蒲区自治協議会通信「じちきょう」を発行しています。今年度は第3号と今回の第4号を発行しました。

より多くの皆さまから自治協議会の活動を知っていただくための広報紙をめざし、今後もメンバー一同、頑張っていきます。

(挿し絵協力：吉井 美央)

## 漆山

「赤池」にまつわる伝説について

漆山の五の町と六の町の境には昔は五反歩もある池があり、県道の赤池橋によって南北に分かれていた。

昔、賊の黒鳥兵衛を打ち破った加茂次郎義綱が、この池で血に染まった刀を洗ったところ、水はたちまち赤変したということ、それから人呼んで「赤池」といい、一日に水の色が三度変わったということです。

また、その昔、雷鳴轟き黒雲に乗ってきた龍があり、「赤池」の上空に来るや突然水中に姿を没し、それ以降「赤池」の主となって、毎年六月二十五日の寺御講の日は美しい婦人に化けて永伝寺様へお参りし、着物の裾からしたり落ちるしずくが「赤池」から永伝寺様へ続いたのだと言われている。さらにその婦人の立ち退いた跡には一間四方くらい畳が濡れているということがある。龍がお参りするその日は、朝いくらい良い天気でも必ず雨が降ると言い伝えられている。



昭和初期の赤池



現在の赤池跡

## 角田

ミステリースポット角田「岩屋」

日本海の海岸線を新潟・内野方面から車で寺泊方面へ向かうと、越前浜海水浴場から角田コミ協が命名した「三浜口マンチツク街道」に入る。そして角田浜キャンプ場の丁度反対側の角田山の麓に、大きな岩肌が削り抜かれたような岩穴がある。入口の標柱には「七面大天女岩屋」と記されている。

苔むした倒木をくぐって岩屋に近づくと、上の岩壁の明るさと岩穴の奥の暗がりとのコントラストに圧倒される。岩穴の入口から中に入っていくにつれ、心が謎めいたものに満たされるのはどうしてだろう。

M1 岩屋の標柱の頭に付いている「七面大天女」とは何か？

M2 角田浜に漂着した日蓮聖人と岩屋との関わりとは何か？

M3 岩屋の中に大小の石があり、それを崩しても翌朝には元通り？

M4 岩屋の左奥は国上寺の風穴に通じている？等々の謎(M)がある。

間もなく、春の海岸線を車で走るには格好の季節となります。角田浜海水浴場の駐車場に車を置いて「岩屋」を探検してみてください。その不思議な気持ちを解消したければ、さらに元の道を先に歩いて行くと角田山妙光寺に出るので、住職様にお願ひして謎解きを試みてはいかがでしょうか。